

富津市公共交通ニュース

vol.1 2018年7月

発行者：富津市企画課公共交通係（電話 80-1229）

富津市公共交通ニュース、はじめました。

富津市を中心とした公共交通に関する情報をお知らせする「富津市公共交通ニュース」を発行します。

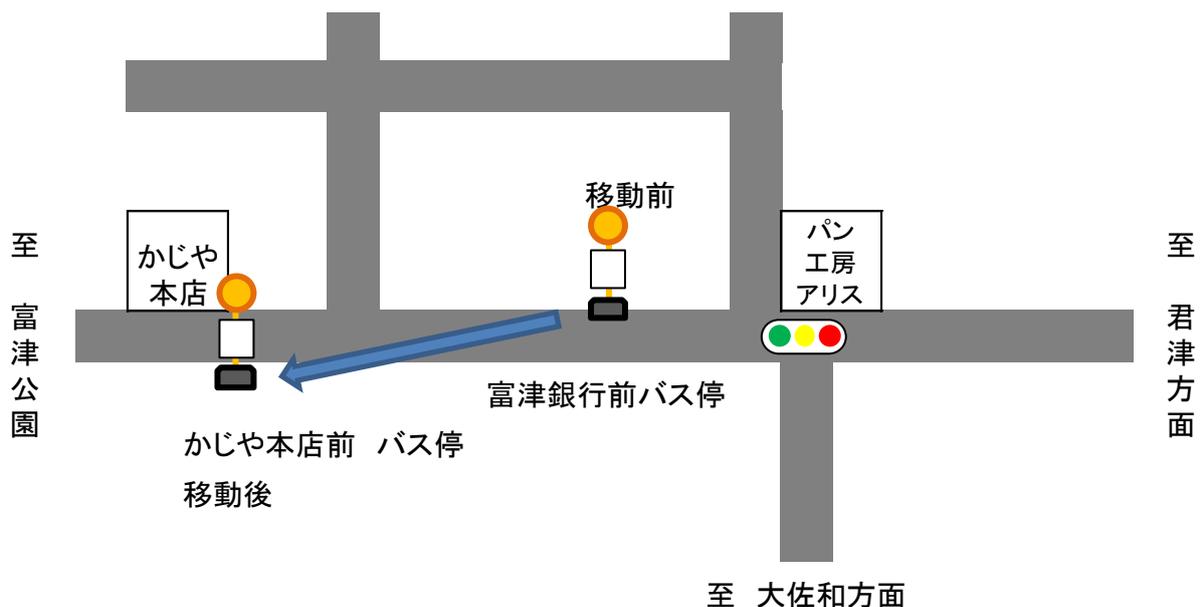
これから、公共交通に関する各種情報やイベントなどお知らせしていきます。

バス停の位置と名称が変わりました

2018年7月1日から、富津線（富津公園～木更津駅西口）と湊富津線（上総湊駅前～富津公園）の「富津銀行前」バス停が「かじや本店前」に変わりました。（運行時間は変更ありません）

ご利用の際は、乗降車場所等の誤りにご注意ください。

【バス停の位置】



Q.バス停が片側にしかない時は、どうやってバスに乗るの？

A.富津市内を走る路線バスの停留所のうち、道路の片側だけバス停の標識があるときは、バス停の標識の「自分が行きたい方向の車線側」でお待ちください。
※片側のみのバス停の場合は、標識に両方向の時刻表の表示があります。

かじや本店前バス停の場合、富津公園方向に行きたいときは、バス停標識のそばで、青堀駅方向に行きたいときは、標識の反対車線側（かじや本店店舗側）でお待ちください。

富津市地域公共交通会議を開催しました

6月25日（月）に、今年度第1回会議を開催しました。

議題は、「富津市地域公共交通網形成計画に係る2018年度事業計画（案）について」で、賛成全員で承認されました（会議資料と結果は市のホームページに掲載します。）。

議題に関する議論では、「スクールバスの市民混乗は、小中学生と一般の利用者が同乗することについて保護者の理解を得られるかが課題であること」や「高齢者の免許返納について、返納後の移動手手段の確保に取り組んでいただきたい」といった、意見がありました。



【会議の様子】

富津市内の路線バスの利用者と国県市補助の状況

昨年実施した路線バス利用者聴き取り調査では、多くの改善に関するご意見の中、「このバスが無くなると生活できない。長く存続して欲しい。」

「通院に利用していて助かっている。もっと本数があればと思うが、無理か。」といった声をいただきました。

国、千葉県及び富津市は、バスが必要な市民や富津市を訪れる人の大切な移動手手段である路線バスを維持するため、利用者の運賃だけでは採算が取れないバス路線の赤字分を負担していますが、利用者の減少により負担額は増加傾向にあります。

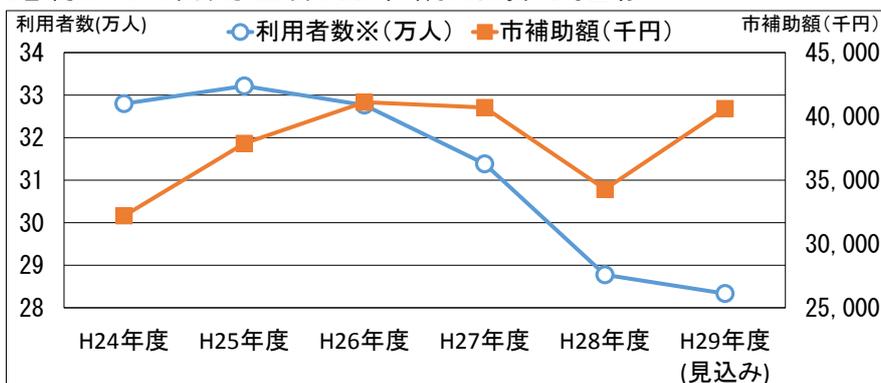
平成29年度（見込み）は

路線バス利用者数は約31万人（うち市の補助路線は約9万人）、

国県市の補助額は年間約6千万円（うち市の補助額は約4千万円）、

国県市は利用者1人あたり約140円（市の補助路線のみでは、一人あたり約440円）の費用負担をしています。

路線バス利用者数と市補助額の推移



※利用者数は、国県市の補助を受けている路線のみ的人数

多くの皆さまにご利用いただくことで、現在利用している人のためだけではなく、次世代に公共交通網がつながります。

今と将来の公共交通を必要とする人のため、公共交通の利用をお願いします。